

PM2.5に取り組んでから10年余り。ムラタには3つの「Pride」があります。

Pride.1 圧倒的な業務実績

PM2.5に対する環境基準の設定に先駆けて、平成13年度から環境省実施の「微小粒子状物質等実測調査」、「そらプロジェクト」等に携わり、我が国における大気中のPM2.5の実態把握に貢献しています。

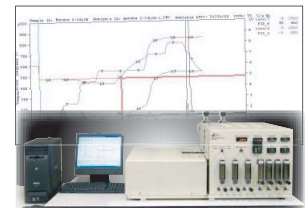
- ・平成13～18年度 ディーゼル排気粒子曝露評価検討調査(実測調査)：環境省 全国16箇所
 - ・平成19～21年度 微小粒子状物質等実測調査：環境省 全国19箇所 (平成21年度から13箇所)
 - ・平成20年度 粒子成分バックグラウンド濃度調査：環境省 全国8箇所
 - ・平成17～21年度 そらプロジェクト-局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査(学童コホート調査)-：環境省 全国47箇所
 - ・平成18～21年度 そらプロジェクト-局地的大気汚染の健康影響に関する疫学調査(幼児症例対照調査)-：環境省 全国4箇所 他多数
- <http://www.env.go.jp/chemi/sora/index.html> (そらプロジェクト 環境省ホームページ)



湿度35% クリーンルーム(50m³)

Pride.2 充実した施設・分析装置

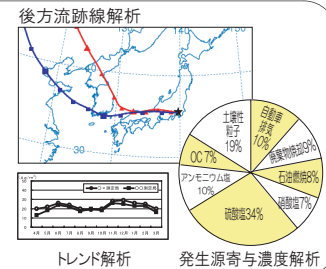
フィルタの秤量を行うクリーンルームは、環境省の「微小粒子状物質測定法専門委員会」において検討中*の標準測定法「温度21.5±1.5℃、湿度35±5%」に対応しています。また、DRIカーボンアナライザーなど、日本国内では数少ない装置も保有しており、分析分野のパイオニアとして一歩先を行く充実した分析装置が自慢です。(※平成21年6月現在)



DRIカーボンアナライザー Model 2001

Pride.3 TOTAL SOLUTION

今後予定されているPM2.5に対する環境基準の設定を受けて、自動測定機(等価測定法)による常時監視が開始される見通しです。我が社では、環境省において検討中*の測定法に基づくPM2.5測定計画の立案・実施をはじめ、PM2.5の実態把握に欠かせない多項目にわたる成分の分析、粒径別粒子の測定、測定データを用いた発生源寄与濃度解析(CMB)等、さまざまなサービスを経験豊富なスタッフにより実現致します。(※平成21年6月現在)



● PM2.5 試料採取・秤量・成分分析(イオン・炭素・金属等)・データ解析 ●

murata ムラタ計測器サービス株式会社

本社 〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町15番 電話：045-812-1811 FAX：045-813-2811
 東京支店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-5 電話：03-3512-0192 FAX：03-3512-0193

環境計量証明事業、特定計量証明事業、作業環境測定機関、土壌汚染対策法に基づく調査機関

<http://www.murata-s.co.jp> E-mail: info@murata-s.co.jp